

◇ 教団新報 <4889号>掲載文章 ◇  
カナダ青年研修ツアー 初の青年研修を開催

8月20日から30日まで、世界宣教部を通して派遣された教団、聖公会、在日大韓教会等に属する青年たち10名をバンクーバーに迎えて、研修ツアーを行った。

20日到着後、翌21日は、ブリティッシュコロンビア州立大学を訪ね、構内にあるバンクーバー神学校でR・トッピング校長から同校の神学教育の特色についてビデオを使った説明を受けた。先住民博物館、ボタニカルガーデンを見学し、先住民の文化と自然に触れた。

22日は、セントアンドリュース・ウェスレー合同教会を訪ね、デイキャンプに参加している子どもたちと、折り紙、コマ回し等、日本の遊びを通して文化と言葉の違いを超えた交流をした。

23日は、キリスト教超教派の社会正義に取り組む団体「カイロス」と、先住民リーダーを招き、植民地政策の下、土地と家族共同体のつながりを奪われた先住民の悲しみの歴史を学ぶ「ブランケット・エクササイズ」を体験した。先住民の長老メラニー氏の体験談、受継がれた彼女のドラムと歌に耳を傾け、多くの参加者にとってこのツアーのハイライトと言える深い経験となった。

24日は、ダウンタウン東部のホームレスの街で人々に仕え、シェルターと食事、その他、様々なサービスを提供している第一合同教会を訪ね、聖書とキリスト教信仰に深く根差し柔軟に人々のニーズに応える姿勢に一同深く心を打たれた。24日の夕方から26日にかけて、5つの近隣・郊外の教会のメンバー宅に分かれてホームステイを経験し、日曜日はそれぞれの教会に出席した。

山火事の影響で煙のかかった空もようやく晴れ、27日は、ウィッスラーで氷河の残る山々を一望した。

28日は、日系人発祥の地スティーブストンから太平洋を望み、カナダの雄大な自然を体感し、充実した9日間の学びを振り返った。（木原葉子報）

